



①第1地区「出征3日路程」メインイベントで ②第2地区の「出征式」 ③第3地区の「東西埼玉教区ファミリー大運動会」 ④第4地区群馬教区の「出征式」 ⑤第5地区の「出征式」 ⑥第6地区の「出征式」 ⑦第7地区石川教区の「出征式」 ⑧第8地区北愛知教区の「120日路程出征式スポーツフェスティバル」

母の国・日本の使命完遂し、天に栄光を返そう！

全16地区で「120日特別路程出征式」を挙行

真のお父様の聖和4周年記念行事を勝利的に終え、真のお母様は40日間の絶対精誠の土台の上に、10月3日から7日まで、日本統一運動に関わるすべての指導者約800人を韓国の清平^{ヨンピョン}で開催の「真の父母様招請 日本指導者特別集会」に招待してくださいました。

この期間、日本の指導者たちは、真の父母様が直接主管された特別教育をはじめ、孝情文化巡礼、韓日天一国指導者和合統一出征式、体育大会などを通じ、VISION2020の勝利に向けた真のお母様の切実なご心情に直接触れながら、一人ひとりが天の父母様に対する真の父母様の孝の心情～孝情～の伝統を相続するため深刻な立場で過ごしました。

特に6日午前、真のお母様をお迎えして龍平で行われた「韓日天一国指導者和合統一出征式」を通じて、10月12日から来年2月の基元節4周年まで

VISION2020勝利のための120日路程の出発を宣言。

「私が勝利したように、日本も母の国として勝利してほしい」とのお母様の熱い期待を受けながら、この日の夜、日本のすべての指導者が一堂に会して「日本天一国指導者出征式」が行われました。

その中で宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長は、基元節4周年までの120日路程における具体的な目標として「青年2000人の祝福勝利と1万人の休眠食口の再復帰」を目指すことを表明。新規伝道の年間目標達成と1200認定家庭教会の定着を呼び掛けながら、「家庭連合の旗を高く掲げ、死生決断、全力投球、実践躬行の覚悟で、天一国に向かって総進軍しよう」と訴えました。

出征式を終え“天の精兵”として日本に戻った責任者たちは、直ちに食口たちを呼び集め、真のお母

様から頂いた真の愛とみ言を共有しながら、日本の全16地区において120日特別路程の「出征式」が行われました。

全国各地で出征式

全国の地区の中で第1（北海道）、第2（東北）、第5（東京）、第6（神奈川）、第11（中国）の各地区は、“地区レベル”で出征式を行いました。

第1地区は、「VISION2020勝利の為の第1地区出征3日路程」として、「救国救世北海道大会」（10月8日、札幌）、「慰霊塔広場出帆記念式」（9日、帯広・「聖火の郷」）、「第1地区親子セミナー」（10日、札幌）を開催。徳野英治会長を迎えて行われたメインイベントの「慰霊塔広場出帆記念式」には1200人が参加し、真のお母様のみ言と心情を相続しながら、VISION2020勝利に向かって再出発しました。

第5地区は12日、新宿家庭教会に李成萬^{イソンマン}本部長を迎えて「VISION2020勝利の為の第5地区特別120日路程出征式」を開催し、7教区、36教会から総勢360人が参加。内的なみ言を中心に真のお母様と心情一体化していく決意の出征式となりました。

一方、第6地区は11日、西神奈川教区相模原家庭教会で「第6地区 日韓和合統一出征式」を行い、全教会をネット中継で結んで1020人が参加しました。その中で、刑部徹第6地区長は「今回、日韓の指導者がVISION2020に向かい和合統一の為に姉妹結縁をしましたが、その目的は、天の父母様と真の父母様の夢を果たす為に、日韓の救国救世基盤造成の為の出発にありました。しかし、どのように救国救世を成していくのでしょうか？それはお母様と一つになることです」と訴えました。

一方、第3（北関東）、第4（上信越）、第7（北陸）、第8（東海）、第10（四国）、第13（南九州）、第15（東関西）、第16（東中国）の8地区では、教区単位で出征式を実施しています。

10月度の出発式とあわせて出征式を行った第7地区の高松八寿夫地区長は9日、石川教区金沢家庭教会に集まった180人の食口たちを前に、「今回の韓国での行事は、お母様の胎中に戻って日本と韓国の牧会者を生み直して下さる期間であり、この120日路程は、李舜臣將軍の『必死即生、必生即死』『滅私奉公』の精神でいけば、勝利は可能です」と訴えました。

第13地区の永井義行地区長は9日、熊本阿蘇家庭教会で行った「天一国安着出征礼拝」でメッセージを語り、「真のお母様は切迫した心情で日本の指導者を集められました。お母様は日本に大きな期待をかけておられるのです」と強調。「何よりも、日本食口が親孝行の精神でお母様を喜ばせて差し上げましょう」と呼び掛けました。

第3地区の東埼玉、西埼玉両教区や第8地区北愛知教区、第16地区兵庫教区では、スポーツを通じて食口

同士が絆を深め、勝利に向かって決意を新たにする出征式としました。

第3地区は9日、「東西埼玉教区ファミリー運動会」を開催し、約900人が参加。五十嵐政彦地区長は閉会式で、「韓国での指導者集会でも韓日対抗運動会を行ったので、天運相続のためにどうしても運動会をやりたいかった。雨が降ったので、埼玉県内でこの規模の運動会を実施したのは私たちだけでしょう。皆さんの信仰でやりきって天と地が一つになって勝利しました。また救国救世の運動会とするために、地元の議員の方々も来られました」と語りました。

教会ごとに出征式を行ったのは、第9（関西）、第12（北九州）、第14（東関東）の各地区です。

第9地区では9日、各教会で行った出征式に全体でおおよそ2200人が参加。朱鎮台地区長は「韓日責任者の出発の基台の上に、食口の皆様も孝情文化革命を通して皆様自身が“発光体”の人生を歩み、天一国創建の聖なる戦いに共に出征して下さるようお願いします」と呼び掛けました。

二世圏祝福推進インターネット会議を開催

基元節4周年までの120日路程における「青年2000人の祝福勝利」に向けても、既に具体的な取り組みが始まっています。

10月20日、「二世圏祝福推進に向けた全国責任者インターネット会議」が東京・渋谷の松濤本部を拠点にして開催され、宋総会長、徳野会長が参加する中、全国の牧会者や家庭教育担当者が祝福教育に関する方針や現場の取り組みを共有しました。

その中で、阿部美樹家庭教育局長は「二世圏祝福に向けた環境整備」について説明。「2000人青年祝福は、単なる数の追いかけでは達成できない目標であり、個々に対する丁寧なマッチングケアや教育環境の整備、コミュニティの充実が不可欠。まずは教会から距離を置いている食口たちを再びかき抱こうという文化・環境づくりから始めなければなりません」と述べ、「二世圏祝福推進委員会」の活性化を図る考えを明らかにしました。

「二世圏祝福推進状況と展望」について報告した櫻井正上家庭教育局副局長は、二世圏の現状把握をさらに進

めていく必要性を語りました。

現場から代表的な取り組みについて報告がされた後、宋総会長が総括のメッセージを語り、次のように述べました。

「きょう再び真のお母様の切実さと切迫感を胸深く刻んで、まだ祝福に連結されていなかったすべての二世たちは『すべて私の責任である』という覚悟で、『一人でも多く!』という心情ではなく、『最後の一人まで!』という気持ちで新たに出発することを願っています。今日を機に祝福の扉を開けて、『まず祝福し、後に教育』の方針に基づいて、今後押し寄せる二世のための数十、数百種類の道を作って、一人ももれなくすべて祝福家庭として立てましょう!二世の祝福のために責任者と担当者^{ベン}と親が一つになって休むことなく祈り、精誠を捧げましょう。アダムとエバを結婚させたいと思った天の父母様の心情を抱いて生涯を生きられた真の父母様の恨を、私達が私達の手で解放して差し上げましょう」

真の父母様の切実さを胸に、全ての二世を祝福につなげよう!



⑨第9地区南大阪教区大阪家庭教会の「出征式」 ⑩第10地区高知教区の「出征式」 ⑪第11地区の「出征式」 ⑫第12地区福岡教区福岡家庭教会の「出征式」 ⑬第13地区鹿児島教区の「出征式」 ⑭第14地区北千葉教区船橋中央家庭教会の「出征式」 ⑮第15地区京都教区の「出征式」 ⑯第16地区「兵庫教区指導者と合統一出征スポーツ大会」

内的革命から家庭連合時代の 奇跡を起こそう！

宋総会長が北千葉・柏家庭教会、北東京・青年部を訪問



- ①特別礼拝で説教を行う宋総会長
- ②成和青年部メンバーがダンスで盛り上げる
- ③北東京青年部のメンバーたち
- ④青年たちと一緒に踊る宋総会長ご夫妻

北千葉・柏家庭教会「特別礼拝」

10月16日、柏家庭教会で基元節4周年までの120日特別路程勝利のための「特別礼拝」が行われ、約130人の教会員が集まりました。宋龍天総会長が柏家庭教会を訪れるのは2年4ヵ月ぶりで、今回初めて宋総会長と直接お会いする食口も多く、天運とみ言と愛を受けて復興する恵みの時間となりました。

オープニングは、成和青年部メンバーによる「無条件」のダンスと、柏家庭教会のコーラス隊「ヘブンリークワイア」による「アメージング・グレース」「You Raise Me Up」の歌が披露。

宋総会長はメッセージの中で、真の父母様のみ言を訓読した上で、「真のお母様が『私たちの夢が成される時が来た』と言われたので、このみ言を地に落とすことなく、家庭連合時代の奇跡を起こさなければなりません」と強調。「その奇跡とは外的な奇跡ではありません。私たち自身が変わることこそ内的な奇跡であり、内的革命から内部伝道を成していけば、おのずと神氏族メシヤによる外部伝道は出来るのです」と訴えました。

北東京教会「出征式」

10月19日、北東京教会足立家庭教会に宋総会長ご夫妻をお迎えし、「北東京青年部 HJ 出征式」が行われました。

北東京教会における活動の映像上映に続き、荒川家庭教会の成和青年部長を兼任する林東成副教会長が、VISION2020に向けた教会の目標と戦略のプレゼンテーションを行いました。

愛唱歌「Be Born Again」を全員で歌った後、宋総会長ご夫妻が登壇。

まず、李海玉総会長夫人が「ここに真のお父様が来ておられます！」と激励の挨拶。宋総会長が「これほど熱気にあふれた集会は今までありませんでした。北東京の青年が日本全体を引っ張っていき、VISION2020は必ず勝利できます。この集会の内容をお母様に伝えたい！」と熱く語りました。

最後は、宋総会長ご夫妻と共に愛唱歌「勝利の日まで」を歌って踊り、会場全体で「VISION2020を必ず勝利します」と決意を新たにしました。

躍動する日本の国づくりのビジョンを提示

徳野会長ご夫妻が宮城、岩手を訪問



- ①岩手教会の「出征式」集まった食口たち
- ②メッセージを語る徳野会長
- ③「ウリヌン・ハナダ」ファミリーチームによるパフォーマンス

10月14日から16日にかけて、徳野英治会長ご夫妻は第2地区（東北）の宮城、岩手両教会を訪問し、12日に始まった VISION2020 勝利のための120日特別路程の「出征式」や壮年研修会などで食口たちを激励しました。その中から、16日に岩手教会盛岡家庭教会で行われた「岩手教会120日統合統一出征式」の様子を紹介します。



約200人の食口・祝福家庭が参加した岩手教会の「出征式」は、徳野会長ご夫妻を歓迎するエンターテイメントで開幕。婦人食口たちの岩手マザーズチームが「み旨の応援歌」を、壮年食口たちの岩手ファザーズチームが「勝利の日まで」の歌を披露した後、幼児から60歳代までのメンバーで構成された「ウリヌン・ハナダ」ファミリーチームが「無条件」の歌とダンスで会場を盛り上げました。

姜政求岩手教会長と安榮燮第2地区長の挨拶、花束贈呈の後、徳野久江会長夫人が挨拶し、「お母様は5年先、10年先、100年先を見据えて歩んでおられます。100年先までの清平プロジェクトの青写真を見ながら、日本がさらに頑張らなければいけないと決意を新たにさせられています。お母様のご心情と願いに思いを馳せながら、勝利を祈ってください」と述べました。

引き続き、徳野会長が「救いの原理の核心」と題して説教を行いました。

徳野会長は、「ルカによる福音書」7章36～48節の聖句を引用し、「今日選んだ聖句、説教の題名が全てです。極めて重要な内容が込められています」とした上で、次

のように語りました。

「〔聖句にあるように〕50デナリ借りた人も、500デナリ借りた人も、どちらも借金を返さなくて良いと赦されました。どちらの人がより多く感謝したかという、500デナリ借りた人です。より多くを赦された人が、より多く感謝するのです。借金は、罪のことです。自分がどれほど罪深い者であるかを自覚することが重要です。罪が多いという自覚がある人の方が、より感謝するのです。メシヤを多く愛した分だけ、より多くの罪が赦されます。より多く赦された人が、より多くメシヤを愛します。深く赦され、愛されたという思いがあれば、お父様、お母様に対する信仰が深まり、（ご父母様を）多く愛した分だけ、私たちは救われるのです。マグダラのマリヤとイエス様の関係に、信仰の原点があります」

「私も今までに多くの信仰的試練や誘惑がありました。それでも今日までかろうじてこの道を生き延びて来られたのは、この聖句のお陰です。メシヤと私、この関係の根本的意義。メシヤによって救われたとどれだけ深く実感しているか。赦されていると深い次元でとらえられる人は、メシヤの価値が分かり、感謝してみ旨の道を歩むことができます。救いの実感のない人は、それが弱いのです。胸に手を当てて、自分の中で罪の赦しや救われた恩恵をどれだけ実感しているか、一度じっくりと見つめてみてください」

引き続き、牧会者、婦人代表、青年代表、摂理団体の代表4人が前に立ち、「出征決意文宣誓」を行いました。

徳野会長ご夫妻より祝福を受け、最後に韓信根・盛岡南家庭教会長のリードで億万歳を行い、出征式は終了しました。

野村健二先生の聖和式・帰歎式を挙行

学術出版、音楽芸術、宣教など多方面で活躍



①聖和式に集まったたくさんの参列者 ②挨拶を行う野村晏子夫人 ③献花を行う遺族

10月25日、43双祝福家庭で「ガーナ国家メシヤ」の野村健二先生の聖和式が、徳野英治会長を主礼として、東京・高田馬場の新宿家庭教会において約350人が参列する中で執り行われました。前日には、主礼に周藤健先生を迎えて帰歎式が行われ、350人余りが参列しました。

野村先生は、東京大学大学院で博士号を取得。日本統一思想研究院初代院長など教理面、学術面において指導的立場を歴任したほか、出版、音楽・芸術、宣教活動など多方面にわたって活躍しました。野村先生は10月23日午前7時33分、病気のため聖和、享年83でした。

午前9時30分から始まった聖和式は、平井利明総務局長の司会で開会。太田朝久・教会成長研究院副院長が代表報告祈禱を行いました。

徳野会長は聖和の辞で、野村先生の生前の実績を学術、出版、宣教、家庭、芸術の5つのポイントにまとめて紹介。天に尽くした愛の功績に対し、参列者から感謝の拍手が贈られました。

また徳野会長は、真のお母様が「祝 祖国光復必勝奉身代表者」の揮毫と特別慰労金を下賜して下さったことに触れながら、野村先生の霊界での活躍を祈願しました。

続いて、宋龍天総会長からの特別メッセージが代読。その中で宋総会長は、野村先生が作詞作曲した「しあわ

せてなんだろう」は、お父様が最も愛された聖歌であり、食口と真の父母様の心情をつないだ「孝情の標本である」と述べ、野村先生の功績を称賛しました。

引き続き、霊の親である堀信義先生が、野村先生との懐かしいエピソードを披露した後、送辞として晏子夫人の妹の純子・ラッソーニさんと次男・安雄さんが野村先生との思い出を回想。安雄さんは「父は感情を表に出さない、近寄りがたい存在でしたが、8人の孫たちの前では愛の表現が豊かな微笑ましい姿でした」と語って会場の笑いを誘った上で、「父の人生を見習っていきます」と結びました。

電報披露の後、野村先生作詞の「ぶちぬけ火の玉」の力強い合唱、西東京教区聖歌隊による「手をつなごう」の献歌の後、参列者が献花を行い、「しあわせてなんだろう」の全体讃美へと続きました。

徳野会長の祝詞の後、施主の晏子夫人が挨拶。野村先生が息子さんに宛てた手紙を感動的に拝読した上で、夫の闘病生活の様子や孫たちと過ごした幸せな晩年の姿を涙ながらに語りました。

出殯式の後、小山田秀生先生の祈禱で会場全体が一つとなる中、最後に田中富広副会長が億万歳四唱を行い、野村先生のひつぎが天の父母様の待つ尾瀬霊園へと出発して行きました。

公職者は神氏族メシヤ勝利の先頭に立とう！

全国伝道教育部長会議を開催



①全国から集まった伝道教育部長 ②プレゼンを行う矢野治佳伝道教育局長 ③ディスカッションをする参加者

「地域家庭集会の定着による神氏族メシヤ勝利」をテーマに、10月13日から14日にかけて千葉・浦安の一心特別教育院において「全国伝道教育部長会議」が開催され、全国から地区・教区の伝道教育部長78人が集いました。

開会式では、宋龍天総会長が「天一国の完全定着に向けた公職者の使命」と題して講話を行いました。

その中で宋総会長は、「統一教会を中心としたかつての体制は、真の父母様と教会本部、現場の責任者、そして教会員が一体となった一糸乱れぬ組織体制の中で、神様の摂理を最短時間で世界の前に標準モデルとして定着させる歩みをしてきました」と指摘。「(昨年8月の)真のお父様の聖和3周年の天運のもと、日本において正式に『世界平和統一家庭連合』に名称変更する貴い恩賜を賜りました。これからは祝福家庭の連合体として、家庭間の相互協力と調和がますます重要になってきます。各家庭に合わせた問題解決を提示するとともに家庭完成の道に導いていかなければなりません」と語りました。

その上で、「祝福家庭の最終目標は、神様と真の父母様に侍る家庭の完成、即ち真なる家庭の完成と神氏族メ

シヤ勝利にあります。その先頭に立つのが公職者の使命です」と語り、参加者を激励しました。

その後、矢野治佳伝道教育局長が2016年上半期の歩みを総括。続いて地域家庭集会の定着の取り組みの証しやディスカッションの時間を持ち、活発な意見交換が行われました。

また、2日修練会を中心とした教育システム構築や神氏族メシヤ推進状況、家庭連合時代の伝道教育観、現場での祝福式の取り組み、下半期の勝利に向けての方向性などについて、共に学び考える時間を持ちました。

閉会式では、徳野英治会長が「真のお母様が2013年に語られた『日本は伝道さえ勝利すれば、希望あるのみである！』というみ言を肝に銘じて、爆発的伝道の勝利に向けて2020年までの後半3年半、死力を尽くしましょう!」と訴えました。

2日間にわたる充実した会議を通して参加者たちは、これから大きな伝道の波が起こり、家庭連合時代における改革が着実に進んでいくことを確信しながら出発していきました。

天の父母様の計画に沿って生きよう

名古屋で「中部韓国人食口特別集会」



①特別集会に集まった韓国人食口たち
②メッセージを語る李海玉夫人
③「ビビンバ・パフォーマンス」の一場面
④各テーブルを回って参加者を慰労する李海玉夫人

10月15日、李海玉・全国祝福家庭総連合会総会長夫人をお迎えし、名古屋市の守山修練所で「中部韓国人食口特別集会」が開かれ、第6、7、8地区の韓国人食口およそ110人が参加しました。

第1部の特別集会は、真のお父様聖和4周年の記念映像の上映、花束贈呈、小藤田喜文第8地区長の挨拶の後、「使命」という映像が上映されました。

続いて李海玉夫人が登壇、メッセージを語りました。

まず「私たちがこの場に集まったのは偶然ではありません。天の父母様の計画の中で出会ったのです」と指摘。「日本に住む韓国人食口たちは元気になっていますか？」という真のお母様の名言を紹介しながら、お母様の心情世界を伝えました。

また、「皆さんと家族の情を分かち合うために来ました。天が下さった創造の本性を育てていく人生と、お互い愛し合いなさいという名言を成すために努力しましょう」と強調。「天は過去については聞かれませんが、今日からが新しい出発です。人生は計画通りにはいかないも

のです。天の父母様の計画通りに生きていきましょう」と呼び掛けました。

第2部では、李海玉夫人をはじめ6000双家庭の祝福記念日を祝賀するケーキカットに続き、「ビビンバ・パフォーマンス」が行われました。大きな器に準備された材料を李海玉夫人と牧会者が大きなしゃもじでかき混ぜてビビンバを作り、それを各テーブルに分配してそれぞれのテーブルに準備された材料と合わせた上で、全員で分け合って食べるというもので、「ウリヌン・ハナダ（私たちは一つ）」の精神を味わうひと時となりました。

食事を終え、金允坤南愛知教区長が二世祝福の説明会を実施。その後は、エンターテインメントと和動交流、プレゼント抽選会を行い、参加者は楽しい時間を過ごしました。

最後は鄭光根東愛知教区長の億万歳三唱で特別集会は終了。名言の恩恵と共に大きな愛に包まれながら、参加者同士が心情関係を深める貴重な機会となりました。

コスタリカとパラグアイの国会、真の父母様に「特別平和功労賞」授与

世界平和や家庭再建への取り組みを評価



①パラグアイのロベルト・アセベド上院議長（左から2番目）から特別平和功労賞を受け取られる文権進様（中央）
②「世界平和国会議員連合南米圏創設式」の会場となったパラグアイ国会本会議場
③コスタリカのホセ・アルベルト・アルファロ国会副議長（右から3番目）から特別平和功労賞を手渡された文権進様ご夫妻（中央）
④コスタリカ国会で行われた国際会議

真の父母様はこのほど、長年にわたる世界平和と家庭再建運動などへの取り組みが評価され、中米コスタリカと南米パラグアイの国会から「特別平和功労賞」を受賞されました。

10月6日から8日にかけて、コスタリカで「国際指導者会議」（主催・UPF）と「中米・カリブ圏 世界平和議員連合創設大会」が開催されました。

この行事の中で7日、コスタリカ国会が真の父母様に「特別平和功労賞」を授与し、真のお母様の名代として会議に参加された文権進・世界平和武道連合理事長が、ホセ・アルベルト・アルファロ国会副議長から記念品を受け取られました。

今回の賞は、ご父母様の平和実現のための努力に感謝を表し、コスタリカ国会の議決を通して授与されたもの

で、アントニオ・アルバレス国会議長は「文鮮明・韓鶴子総裁（真の父母様）の世界平和と人類繁栄のための持続的な努力、及び平和と人権推進のための献身」を高く評価しました。

また、10月10日から12日にかけて、南米パラグアイで「国際指導者会議」と「世界平和国会議員連合 南米圏創設式」が開催されました。

11日にパラグアイ国会で行われた「創設式」では、同国の上下両院から真の父母様に「特別平和功労賞」が授与。ご父母様の名代として文権進理事長が記念品を受け取られました。

ロベルト・アセベド上院議長は功労賞授与の理由について、真の父母様が平和と家庭の価値具現のため努力された点を高く評価したと説明しました。